

世界の情勢(ヨーロッパ) I

科目ナンバリング ARS-103
【IV】 選択 2単位

ミシュラン フランク

1. 授業の概要(ねらい)

この授業のテーマは「欧州連合(EU)ー歴史、現在、そして展望」です。欧州連合(EU)は、世界にとって非常に重要な国際組織ですが現在、危機に直面しています。1945年、第二次世界大戦が終わった際、ヨーロッパの大半が破壊されていました。欧州連合(EU)の構築は、戦後ヨーロッパの平和の主な仕組であり、北米自由貿易協定、アセアン、メルコスール等、あらゆる地域の協力機構に対して現在まで、模範として重要な役割を果たしてきました。しかし、リーマンショック、シリア戦争、英国の欧州連合(EU)離脱等によって、欧州連合(EU)は深刻な危機を迎えています。

この授業では、欧州連合(EU)の歴史や従来の動向を考えた上で、今後の課題を分析します。進み方は、講師による話しだけでなく、映像等を用い、様々な方法でヨーロッパの特殊性、長所や短所を考察してみる。また、現在の不安定な世界の中で多くの事件が起こると考えるため、専門家にゲスト・スピーカーとしてお話しいただくなど、新しい情報に沿って柔軟に授業を進めます。

2. 授業の到達目標

- ① 欧州連合(EU)の特徴を理解する。
- ② ヨーロッパの歴史や現在に関する知識を学び、21世紀の新たな動向を考える。
- ③ 日本をヨーロッパと比較しながら、日本の展望を考察する。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(出席)20%、小テスト(LMSにて)30%、期末試験 50%
合格するには下記の条件があるので、ご注意ください。

1. 期末試験を行う事
2. 小テストを8回以上受ける事
3. 4回以上対面授業を欠席しない事

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しない。

特になし。

参考文献

適宜紹介する。

白井さゆり 『ユーロ・リスク』(2011年) 日本経済新聞出版社

ロベール・フランク 『欧州統合史のダイナミズムーフランスとパートナー国』(2003年) 日本経済評論社

庄司 克宏著 『欧州連合ー統治の論理とゆくえ』(2007年) 岩波書店

遠藤 乾 『欧州複合危機ー苦悶するEU、揺れる世界ー』(2016) 中央公論新社

5. 準備学修の内容

毎週のテーマについて予めの準備学習を参考文献等を読んで行う。ヨーロッパに関するニュースを毎週読む。毎回授業の復習をする。

6. その他履修上の注意事項

毎週出席してください。また、秋期に「世界の情勢(ヨーロッパ)II」を履修していただきたいと思います

7. 授業内容

- 【第1回】 講義の紹介。ヨーロッパとは何か？
遠隔(LMSに音声ファイルを含め教材を掲載)で行う予定
- 【第2回】 ヨーロッパを戦争から解放する
遠隔(LMSに音声ファイルを含め教材を掲載)で行う予定
- 【第3回】 欧州連合の創設
対面で行う予定
- 【第4回】 黄金の時代
対面で行う予定
- 【第5回】 ベルリンの壁
対面で行う予定
- 【第6回】 強化か拡大か？
対面で行う予定
- 【第7回】 イギリスの加盟と離脱
対面で行う予定
- 【第8回】 欧州連合の国境とトルコ問題
対面で行う予定
- 【第9回】 欧州連合の安全政策
対面で行う予定
- 【第10回】 ユーロの希望
対面で行う予定
- 【第11回】 欧州連合の研究や高等教育
対面で行う予定
- 【第12回】 ギリシア問題
対面で行う予定
- 【第13回】 大衆迎合主義(ポピュリズム)の台頭
対面で行う予定
- 【第14回】 21世紀における欧州連合
対面で行う予定

【第15回】 まとめ。試験
対面で行う予定